

土浦市立博物館テーマ展

秋の夜空を彩る花火——土浦全国花火競技大会の歴史

9月14日(土)～11月10日(日)

土浦全国花火競技大会(土浦の花火)の始まりは、今から94年前の大正14(1925)年までさかのぼり、今年で88回目を迎えます。例年、秋も深まる10月に行われていますが、そこには、競技大会発案者である神龍寺(文京町)住職・秋元梅峯(あきもとばいほう)の土浦に寄せる想いや、戦後の競技大会を発展させた土浦火工株式会社(あきもとばいほう)の活動などに関わりを持っています。展示では、夏ではなく、秋の10月に行われる土浦の花火の歴史を紹介します。この機会にぜひご覧ください。

◆第9回土浦の花火フォトコンテスト最優秀賞

「夜空彩る秋の花」岡 広樹さん

(土浦全国花火競技大会実行委員会提供)



—展示構成—

- I 深まる秋の花火
- II 競技大会の誕生
- III 町の人々が支援
- IV 土浦火工の活動

◀両国川開花火で土浦火工が獲得した総理大臣盃(個人所蔵)



◆展示解説と歴史散歩「土浦の花火と神龍寺」

とき／10月5日(土)、14日(月)

午前10時30分～11時50分(小雨決行)

内容／展示解説、神龍寺探訪

◆ミュージアムシアター「土浦の二つの花火」

とき／10月26日(土)

①午前11時から、②午後1時30分から、③午後2時20分から、④午後3時10分から(上映時間はいずれも40分程度)

内容／記録映像の上映会

- ①・③…「大畑のからかさ万灯」
- ②・④…「土浦の花火」

◆呈茶

「お茶を一服いかがですかー花火によせた茶会」

(土浦第二高等学校茶道部)

とき／11月3日(日) 午後0時30分～3時

定員／100人(先着順)

茶券／200円(9月14日(土)から受付で販売)

◆ちょっと体験「打上会場で、はい、ポーズ！」

打上会場の写真を◀10号花火玉「模造」(当館所蔵)

背景に、花火玉や花火筒と一緒に写真が撮れます。



休館日／月曜日、9月17日(火)、24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)

※国民の祝日、10月23日(水)は開館

無料開館日／10月26日(土)(土浦全国花火競技大会、11月3日(日)文化の日)

入館料／一般：105円(75円)

小・中・高校生：50円(30円)

※20人以上の団体は1人()内の金額

※土曜日は小・中・高校生入館無料

問合せ／市立博物館(☎824・2928)